



できることが増える喜び

院長 泉 親志

北広島市も例年通りの積雪となり、本館の屋根からの落雪により、着座しては事務室窓から外の景気が見えなくなっています。また、樹木に着雪し、敷地内は得も言われぬ幻想的な景色となっています。



子どもたちは、雪の恩恵にあずかり、スキーを楽しみます。とは言え、道内各地か

ら来ている子どもたちですから、スケートやスノーボードにしか乗ったことがない子どもが多数おります。そんな子どもたちは悪戦苦闘してスキーに乗ることを覚えていきます。学院からほど近くにあるスロップで練習を重ねた後、いざスキー場へ行き、リフトやゴンドラに初めて乗り、整備されたゲレンデを滑走することで、子どもたちはみるみる上達します。スキーに限らず、子どもたちは、初めてのことに挑戦し、できることが増えていくことを実感します。

学院祭

学院祭について

みやび

私は今回の学院祭で、ピアノ、意見発表、朗読劇などを発表しました。最初の頃は「失敗したらどうしよう」ととても不安でした。しかし寮発表の朗読劇では、寮のみんなで小道具を作ったり、毎日読む練習などをしていくうちに、不安な思いが「いい発表にしたい」という思いに変

わりました。学院祭当日は、緊張で不安になったけれど、沢山練習をしてきたおかげで不安に負けず、自信を持って発表することができました。そしてその頑張りを、家族や児童相談所の先生などが見に来てくれて「すごく良かったよ」とほめられた時、頑張つて良かったなと思えました。これからも不安なことがある時は、練習を沢山したりして、不安に勝てるように自信をつけて、色々なことに取り組んでいきたいです。

学院祭

福祉専門員 小嶋



十一月十一日に、学院祭が開催されました。向陽学院の中でも一大イベントである、学院祭に向けた準備は、およそ三ヶ月前から始まります。子ども達の中から実行委員が選出されると、テーマやテーマに沿ったシンボリックイラストを募集し決定されま

す。そして、分校発表や寮発表の練習、展示物や装飾物の制作等、分校の授業や寮日課の合間を縫って、子ども達は学院祭当日まで大忙しで過ごします。

今年度は、「Flower」笑顔を忘れず思いを込めて」というテーマのもと、子ども達は笑顔を忘れず、忙しい毎日にも当日のステージ上にも素敵な花をたくさん咲かせてくれました。そんな、当日の子ども達の笑顔の裏には、それぞれが乗り越えてきた数々の壁がありました。その壁を一緒に乗り越えてきた職員や教員、そして成長してきた子ども達それぞれの力が一つになって、お越しくださった皆様の心にも、感動の花を咲かせることができたのではないかと感じています。

たくさんの方にお越しいただき、子ども達は自分の晴れ姿を見ていただいたことが大きな励みになっていたようでした。お忙しい中、遠方からお越しいただいた皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。



冬 休 み

冬休みについて

あいむ

冬休みで楽しかったことはクリスマス会をしたことです。理由はおいしいご飯を食べたこととトナカイさんがピアノを弾いてくれたこととプレゼントをもらったからです。クリスマスの日の前中は大掃除をしました。いつもやらない所をやったのですが、ピカピカになってすごく気分が良かったです。大掃除が終わったあとはクリスマス会に向けて飾りました。クリスマス会が始まったらサンタさんとトナカイさんが来ました。プレゼントをくれました。寮の皆は喜んでいるのにその時はなぜかテンションが上がらなかったです。本当は嬉しかったです。もう一つ楽しかったことがあります。

お正月が楽しかったです。理由は紅白歌合戦を見たことといっぱい寝られたり起きていられたからです。午前中は朝からおせちを食べました。苦手なものが多くて大変でした。でもおいしかったです。ご飯を

食べたあとはのんびりしていました。午後はおかしを食べながら紅白を見たり、かるたをしたり、自作の福笑いで遊んでいました。とっても楽しい時間でした。

冬休みについて

福祉専門員 北村

今年度の冬休み日課は十二月二十二日から一月十五日までの期間に実施となりました。毎年恒例のものから新たな行事まで盛り沢山の内容となりました。また、外部講師としてご来院いただいた皆様におかれましては、工夫を凝らしたプログラムにより子ども達の新たな学びや体験の機会を頂いた事に深く感謝申し上げます。

昨年冬休みを当院で経験している児童からは今年はどうなことをするのかと期待の声もあり、職員一同調整を重ねまし



た。施設での実施だからこそ味わえる集団での楽しさもあります。子ども達はそれらや課題につきものです。子ども達はそれらの問題にも同時に向き合う必要があります。職員は、常に楽しさだけでは足りない日々を送る子ども達の変化に触れ、更なる成長に向けて共に歩む日々です。



スキー学習

「スキー遠足について」

のぞみ

私は、一月二十七日に、スキー遠足がありました。私は、さいしょ、スキーがいやだと言っていました。すべれるようになって

たら、楽しくなってきました。私と、かのんさんと、小嶋先生と、いずみ院長先生と一緒にやりました。チームを決めて、「のんのんず」に決めていきました。まいごになっても、「のんのんず」とさげふと、まいごにならないとかのんさんと、考えました。でも、スキーで、楽しんだことは、これだけでもないんです。それは、コツをつかんだことです。コツをつかんでやると、楽しくなってきました。さいごに、先生に、一人で行ってきてもいいよと言われて、一人で、楽しくすべりました。こんな、楽しいことがつづくといいな。また、次のきかいで、もっとコツをつかもうと思いました。それに、リフトも、ゴンドラも、のりましました。楽しかったです。のれるってたのしいと思いました。



スキー学習について

児童自立支援専門員 安藤

一月二十七日に夕張マウントレースイスキー場に行ってきました。子どもたちは、冬休みから学院にある坂や西の里小学校の裏山でスキーの練習を行います。地域によって、学校の体育で行うスポーツは異なり、今年は半数以上がスキー未経験の子どもたちでした。

準備はスキー合わせから始まり、子どもたち自身がスキー板にワックスがけもしています。今回は、滑れるレベルに合わせて、グループを二つ編成しました。スキーを経験したことがある子どもたちは、西の里小学校の裏山に行き、スタートからゴールまでターンを入れながら滑る練習をします。未経験の子どもたちは、スキーを履いて歩くことから始めますが、その時点で苦戦し、なかなか前に進めない子もいました。また、転んだときの立ち方を練習してから緩やかな坂に行き、止まる練習をします。止まることに苦戦し、何度も転んでしまい、「スキー嫌だ！」という声がたくさん聞こえました。

夕張で滑る当日は、どの子どもそれまでより滑れるようになったようで「先生、滑れるようになりました！見てましたか？」と

笑顔いっぱい報告をたくさん聞きました。リフトやゴンドラに乗ることも初めて子どもたちが多く、貴重な体験になったと思います。



※作文につきましては、現在の児童の表現を大切にする目的から、校正せずに掲載しております。

行事予定

【3月】

- ・卒業証書授与式（21日）
- ・修了式・離任式（25日・29日）

【4月】

- ・1学期始業式 着任式（8日）
- ・開校記念日（19日）
- ・歯科検診（24日）



児童在籍数

◇小学4年生	1名
◇小学5年生	1名
◇小学6年生	1名
◇中学1年生	2名
◇中学2年生	4名
◇中学3年生	3名
◇卒生	1名
計	13名

R6.3.1 現在

御寄付等

御寄付食品等、皆様の御厚情に感謝申し上げます。

- ・(株)セコマ 様 (クリスマスケーキ)
- ・セブンイレブン 様 (お菓子)
- ・札幌少年友の会 様 (アルバム)
- 匿名でお菓子 (ラングドシヤクッキー) の寄贈をいただきました。



北海道立向陽学院

〒061-1102

北海道北広島市西の里 1015

TEL 011-375-3737

FAX 011-375-3770

メールアドレス

hofuku.koyogakuin1@pref.hokkaido.lg.jp

北広島市立西の里中学校・小学校
陽香分校

TEL 011-375-3673

FAX 011-375-3674